

# 欧米の

## 部品各社



BMWに緩衝器を  
給するKYBスベ

用インジェクターの開閉  
アクチュエーターとして  
使用する。欧州の自動車  
排ガス規制「ユーロ5」  
に適合する車種向け。同  
社は日産自動車の「マー  
チ」や富士重工業の「レ  
ガシ」に搭載する無段

# 新たな収益源確保に動き加速

増える外注  
KYBはスペイン工場  
でBMW向け緩衝器のO  
増える外注  
先国内完成車メーカー  
向けに量産をそれぞれス  
ターゲット。欧州向けには11  
年中にさらに1社に対す  
自動車メーカー向けの営  
速しそうだ。

# HV用ニッケル水素電池

## 4社共同で再資源化

トヨタなど

トヨタ自動車は27日、  
豊田ケミカルエンジニア  
リング(名古屋市中村  
区)、住友金属鉱山、プ  
ライムアースエナジ  
ー(PVEE)、静岡県湖  
西市)と共同で、使用済  
みハイブリッド車(H  
V)のニッケル水素電池  
に含まれるニッケルを電  
池原料に再資源化する事  
業を始めたこと発表した。

従来はステンレスの原料  
としてリサイクルしてい  
たが、高純度でニッケル  
を抽出する技術の開発で  
電池の原料としてリサイ  
クルできることにした。  
ニッケル抽出技術はま  
ず、無酸素で焼却する還  
元焙焼を電池に施し、樹  
脂のみを分解して金属を  
取り出す。その金属を破  
碎・選別してニッケル精  
錬工程へ直接投入できる  
高純度ニッケルリサイク  
ル材を抽出する。

使用済み電池からのニ  
ッケルの回収率は5割。  
ニッケルを取り出すコス  
トは「ニッケル鉱石と同  
等レベル」(石本義明ト  
ヨタ環境部リサイクル企  
画室長)と見込む。  
豊田ケミカルが半田工  
場(愛知県半田市)にリ  
サイクル施設を設置し  
た。ニッケル精製で住友  
金属鉱山、電池の品質確  
保でPVEEの協力を得  
る。トヨタは国内のHV  
引取受付センターで、2  
013年に年間1万台分  
の回収を見込む。海外へ  
の事業展開も進める。

# APEV 独検査機関と連携

## 安全規格など共同で構築

電気自動車普及協議会  
(APEV)、東京都新宿  
区、福武一郎会長(会  
長、03・5325・  
3365)は、工業製品

を知る福島泰佑相談役は  
自動車部品の冷間鍛造を  
始めた時を振り返る。  
同社は鉄、炭素鋼、ス  
テンレス鋼、非鉄金属な  
どさまざまな素材の冷間  
鍛造と切削加工を手がけ  
る。多品種少量生産に対  
応するため、加圧能力4  
00トンの鍛造プレス機を  
3台、同250トンの鍛造  
プレス機を1台導入。ほ  
かにコンピュータ数値  
制御(CNC)旋盤やマ  
シニングセンター(M

の安全性を検証するドイ  
ツの検査機関であるTU  
Vと連携する。TUUVを  
皮切りに各国の業界団体  
や検査機関との連携を加  
速。近く英文のホームペ  
ージを開発するなど世界  
への情報発信を積極化  
し、今年度中に5カ国程  
度の団体との連携を目指  
す。

の安全規格など共同で構  
築する。APEVは今年6月  
末にベネッセホールデン  
グスやゼロスポーツ(岐  
阜県各務原市)など35  
の企業・自治体に参加し  
(福武会長)方針。

# 自動車を支える サプライヤーの 底力カラ

☆63☆

年50万個生産

同社の事業部門は二  
つ。一つは冷間鍛造を中  
心とした自動車部品加  
工。もう一つは1934  
年の創業以来続いている  
繊維機械製造だ。石川県  
は古くから繊維産業の産  
地。多くの繊維業者や織  
機メーカーが集積し  
ており、同社は大手繊維  
機械メーカーから生産を  
分譲して冷間鍛造品だ。  
鍛造部品の生産量は年間  
540万個にのぼる。

同社は1969年に冷  
間鍛造を中心とした自動  
車部品加工に本格参入。  
「精密な繊維機械を製造  
する技術があれば、自動  
車部品加工にも参入でき  
ると考えた」と創業者の  
孫にあたる梶司郎常務は  
語る。

独学で技術習得  
しかし、最初は苦勞の  
連続。「専門書なども  
とくに独学で冷間鍛造の技

を積み上げる」(梶常  
産を始めた。東南ア  
シアを中心に2輪車需要は急  
を追う。

木曜日に掲載)

# 鍛造品多品種少量に対応

# 測定器導入 精度管理を徹底

術を学び、なんとか製品  
C)なども保有する。さ  
を完成させた」と、当時  
らに「日々の小さな改善  
務)ことで小ロット生産

郊外に子会社「PTカ  
マシナリーインドネシ  
ア」を設立。日系2輪車  
メーカー向けに部品の生  
産する。現在は作業者  
が自視で検査している製  
品検査ラインを自動化す  
る考え。「品質にこだわ  
ったモノづくり」(同  
を追求する。

木曜日に掲載)



4台の鍛造  
プレス機で  
さまざまな  
自動車部品  
を製造する  
でも利益を  
確保しやす  
い生産体制  
を築いてき  
た。95年  
は、インド  
ネシア・シ  
ヤカルタ市  
郊外に子会社「PTカ  
マシナリーインドネシ  
ア」を設立。日系2輪車  
メーカー向けに部品の生  
産する。現在は作業者  
が自視で検査している製  
品検査ラインを自動化す  
る考え。「品質にこだわ  
ったモノづくり」(同  
を追求する。

激に伸びており、現在は  
フル生産の状態が続いて  
いる。  
国内競争力強化  
08年に発生したリー  
マン・ショックの影響  
で、09年は生産量がピー  
ク時の約6割にまで落ち  
込んだ。現在ははや回復  
したものの、大きな成長  
は見込めないとし、今後  
は一層、国内生産の競争  
力を高める方針だ。  
その一環として11月に  
は3次元測定器と画像測  
定器を導入し、生産する  
自動車部品の精度管理を  
徹底する。現在は作業者  
が自視で検査している製  
品検査ラインを自動化す  
る考え。「品質にこだわ  
ったモノづくり」(同  
を追求する。

# スクラッチ生産増強

## 東南アでスクーター用

の生産体制を増強すると  
発表した。2011年2  
月にインドネシア工場の  
生産能力を50万台増の1  
60万台に増強し、組み

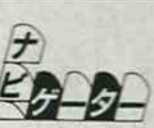
立てのみだったベトナム  
工場では同60万台の一貫  
生産ラインを新設。スク  
ーター人気の高まっている  
東南アジアでタイ、イ  
ンドネシア、ベトナムの  
3拠点体制を確立する。  
同日発表した11年3月  
期連結決算見込みは、東  
南アジアの2輪車用クラ  
ッチと中国の4輪車用ク  
ラッチがけん引して上方  
修正した。円高などのマ  
イナス要因を吸収し、売  
上高は4月公表時に比べ  
30億円増の1130億  
円、経常利益は同10億  
増の115億円、当期利  
益は同8億円増の78億  
円を達成した。

# ブラジルで ジムニー生産

## スズキ12年

スズキは2012年を  
めどにブラジルで小型ス  
ポーツ多目的車(SUV)  
「ジムニー」の生産を始  
める。同国でスズキ車を  
販売する現地資本のSV  
Bアウトモトーレス・ド  
ブラジルがスズキの技  
術支援を受け、生産す  
る。スズキ車はブラジル  
で生産するのは初めて。  
スズキは1991年に  
ブラジルに販売子会社を  
設立したが、03年に撤  
退。08年にSVBを代理  
店として市場に再参入し  
た。09年の販売実績はジ  
ムニーのほか「グラランド  
・ピターラ(日本名エス

クード)、「SX4」  
など3000台。  
SVBはジムニーだけ  
で年間3000台の販売  
を目標としている。



久野さん  
ハウジング部  
品も受注する  
など自動車の  
電動化の追い風に乘っ  
ている同社。それでも「今  
後も国内で生き残るには  
まだまだ」と技術に一層  
磨きをかける構えだ。

消棒  
車載用消火具  
機ワイプシステム  
http://www.jp-system.co.jp

Intellectual Property Matching Fair 2010  
ぶつかるアイデア 広がるビジネス!  
知財ビジネス マッチングフェア 2010  
未来をみつ 中小企業 あ 2010